

第2次山形県循環型社会形成推進計画

【中間見直し版】の

令和2年度 事業実績について

(施策1 廃棄物発生抑制及び再使用を優先する3Rの推進)

令和2年やまがたオンライン環境展による普及啓発

○令和2年やまがたオンライン環境展

- ・日時: 令和2年10月30日(金)～令和3年1月31日(日)
- ・来場(閲覧)数: 22,576人(アクセスしたユーザー(IPアドレス)数)

企業・団体によるブース出展

- ・出展者数(実行委員含む): 40

協賛事業

- ・エコライフやまがた

○大学と連携した3R推進ワークショップ

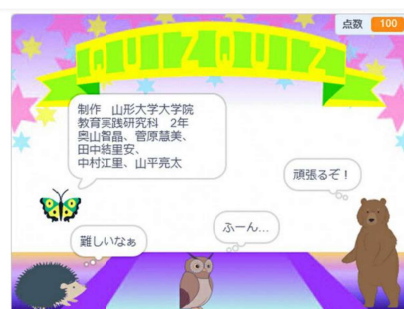
- ・クイズ! 環境問題について考えよう

○環境にやさしい料理レシピコンテスト

- ・コンテスト 応募数: 130件
- ・グランプリ作品実演動画公開



<会場風景>



<山形大学の3Rワークショップ>

令和2年度ごみゼロやまがた推進功労者表彰

《内 容》3Rの推進に努め功績のあった者(個人・企業・団体)について、関係団体や市町村から推薦を募集し、ごみゼロ推進功労者表彰審査会にて審査のうえ、下記2団体を表彰した。

《募集期間》7月17日～8月31日

《表 彰 式》12月16日(水)県庁1001会議室

※「令和2年やまがたオンライン環境展」の特設Webサイトにおいて、被表彰者を紹介。

ごみゼロやまがた推進功労者表彰受賞者

●白鷹町商工会女性部(白鷹町)

平成20年度から、使い捨て食器削減を呼びかける「マイ箸運動」を継続して実施している。主に白鷹町で実施される地域行事において、白鷹町商工会女性部の会員が「マイ箸」「マイカップ」「マイ茶碗」の持参を実践しており、使い捨て食器のごみを削減している。

また、候補者は平成27年に食材を無駄なく使う「エコクッキング」の講習会を開催するとともに、エコクッキングのレシピ集を作成し山形県内の商工会女性部や白鷹町内の環境団体、女性団体に配布した。

●戸沢村立 戸沢小中学校(戸沢村)

平成29年度に校舎一体型小中一貫教育校となって以降、地域共育(ちいきともい)カリキュラムの一環として、小学4年生と中学1年生が最上川のごみ拾い活動「モモカミゴミバスターズ」を行っている。児童・生徒は異学年交流や地域住民との関わりを通じて、最上川周辺の環境に対する理解を深めるとともに、ごみの削減やリサイクルの重要性を学んでいる。

また、年に2回、小中学校が主体となって、児童・生徒や保護者、教員、地域住民が参加する資源回収を実施している。



〈ごみゼロやまがた推進功労者表彰式〉

2

(施策 1 廃棄物発生抑制及び再使用を優先する 3 R の推進)

食品ロスに関する専門家等が作成した資料の公開

「山形県食品ロス削減セミナー」(令和2年12月開催中止)で講演を予定していた講師等が作成した資料を、県のホームページと「令和2年やまがたオンライン環境展」特設Webサイトで公開

《内 容》

- ・『家庭における「食財」の食べきり、使いきり』
料理研究家 行長万里氏
- ・「OTAGAISAMA」プロジェクト
“おたがいさま”から生まれるコロナ禍の食品ロス削減
(株)フードクリエーションジャパン 野菜ソムリエ 武田育子氏
- ・ご家庭で余っている食品の“おすそわけ”
やまがた福わたし 伊藤智英氏

3

外食時の「おいしい食べきり」 全国共同キャンペーンの実施

- 1 期 間 令和2年12月～令和3年1月
- 2 共通キャッチフレーズ 「おいしく残さず食べきろう！」
- 3 実施内容

忘新年会の多い時期に、食品ロスを削減することを目的として、「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる」ことを重点的に、県ホームページや新聞広告、市町村広報誌等による周知啓発、ごみゼロやまがた推進県民会議の構成団体やもったいない山形協力店等を通して食べきり運動の呼びかけ等の周知啓発を行った。

※ ポスター、チラシ、卓上POPを配布

4

(施策1 廃棄物発生抑制及び再使用を優先する3Rの推進)

「ごみゼロやまがた県民運動」活動実績

「もったいない山形協力店」の 募集・登録による食品ロス削減

山形県内の飲食店、宿泊施設、小売店、スーパーを対象に、ごみの削減やリサイクルに取り組む店舗等を募集し、「もったいない山形協力店」として登録するお店を拡大するとともに、消費者からも協力店を利用してもらうため、その取組みを周知した。

○「もったいない山形協力店」の登録数 335店舗(令和3年3月末現在)

	村山	最上	置賜	庄内	計
飲食店	75(3)	3	10	12	100(3)
宿泊施設	14	1	6	9	30
小売店・スーパー	117(17)	13(5)	30(3)	45(9)	205(34)
計	206(20)	17(5)	46(3)	66(9)	335(37)

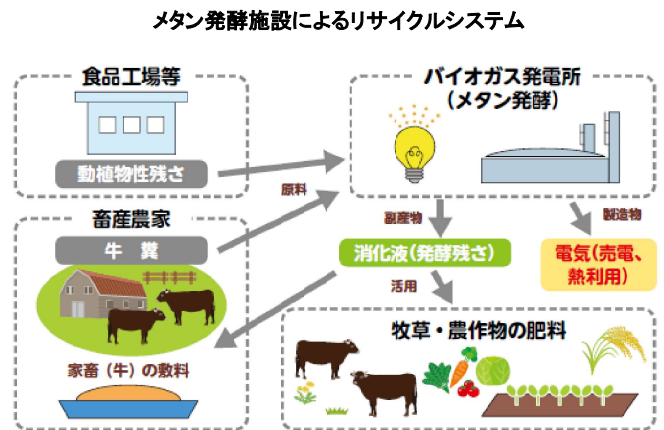
※ ()は令和2年度新規登録事業所

リサイクルシステム認証制度による 循環システム形成の推進

主として県内で排出される循環資源を利用して、県内で展開される優れたリサイクルシステムを県が認証

○リサイクルシステムの認証(令和3年3月末:8システム)

	システムの名称	事業者(申請者)	認証
1	レインボープラン	長井市	H19.3.29～
2	お古紙くさいりサイクルシステム	お古紙くさい協議会	H24.4.1～
3	生ごみやさいく事業	山形市	H25.4.1～
4	小電リサイクルプロジェクト-T-BRAND	(株)高良	H26.2.1～
5	山形都市鉢山リサイクルシステム	(株)鍋元商店酒田営業所	H27.4.1～
6	食品トレーリサイクルシステム「新庄もがみ方式」	新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化対策推進協議会	H29.4.1～
7	庄内エコ米プロジェクト	(株)トー屋	H31.4.1～
8	メタン発酵施設によるリサイクルシステム	東北おひさま発電(株)	R3.2.10～



循環型産業の創出・育成

○技術開発の推進と基盤整備への支援(令和2年度実績)

◆3R研究開発事業費補助金

- ・先導的研究開発事業

補助金額: 800千円(1件)

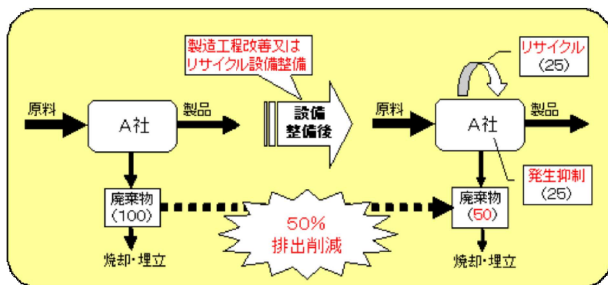
◆循環型産業施設整備事業費補助金

- ・リサイクル施設・設備整備事業

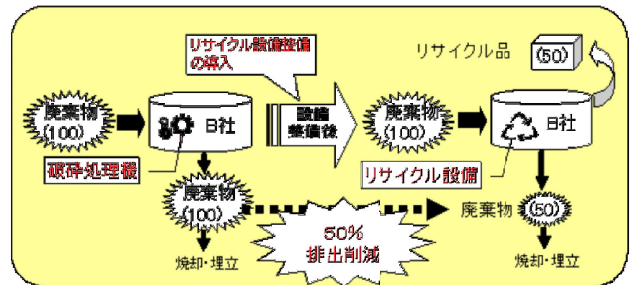
補助金額: 20,716千円(3件)

～ 発生抑制等効果測定イメージ図 ～

【排出事業者が発生抑制設備整備を行う場合】



【リサイクル設備整備を行う場合】



○「3R推進環境コーディネーター」による支援

企業に対し情報提供、助言、課題解決の橋渡し

- ・訪問件数 令和2年度実績 297件

リサイクル製品認定制度

○リサイクル製品の認定(令和3年3月末:49製品)

令和2年度新規認定製品:1製品

- スーパーソル(ガラス発泡資材) 【申請者】株式会社ウエステック山形

○リサイクル認定製品の普及啓発

- ・県ホームページ及び「令和2年やまがたオンライン環境展」特設webサイト上で紹介
- ・県民ロビー(県庁1階)で紹介
- ・県環境科学研究センターにて常設展示
- ・「山形県リサイクル認定製品」パンフレット作成



《令和2年やまがたオンライン環境展》



《環境科学研究センター》



《パンフレット(R3.3作成)》

木質バイオマス燃焼機器設置への支援

家庭や事業所における再生可能エネルギー設備の導入を促進し、温室効果ガス排出量の削減を図るため、再生可能エネルギー設備を設置する者に対して助成を実施

◆再生可能エネルギー設備導入事業費補助金(令和2年度実績)

- ・ペレットストーブ 補助件数: 157件
- ・薪・チップ ストーブ 補助件数: 94件
- ・ボイラー(ペレット・薪・チップ) 補助件数: 2件

補助対象の再生可能エネルギー設備の種類及び補助金額(又は補助率)

設備の種類	設備の要件	設備の用途	交付の対象者	補助金額又は補助率(上限)
木質バイオマス燃焼機器 (ペレット・薪・チップストーブ及びボイラー)	—	住宅用、事業所用 農業用施設用	個人 法人	ストーブ 1/2 (10万円) ボイラー 1/2 (50万円)



不法投棄未然防止対策

○不法投棄箇所数等

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
新規発見箇所数	40	27	15	22	28	13	8	12	8	4
原状回復終了箇所数	48	29	16	24	30	14	7	15	7	8
原状回復未済箇所数	23	21	20	18	16	15	16	13	14	10

○広域連携合同監視(令和元年度)

スカイパトロール

- ・春季(6月)庄内地区
- ・秋季(10月)置賜地区、最上地区(悪天候等で中止)

○監視カメラの設置

・県所有 26台

○不法投棄防止協定

- ・監視目的 10協定
- ・啓発目的 5協定



<スカイパトロールの様子>



<不法投棄箇所(庄内地区)>



<原状回復後>

10

海岸漂着物対策

○沿岸域における清掃美化活動に対する支援 (令和2年度実績)

- ・学生応援クリーンアップ作戦参加者数: 35人
- ・海岸等清掃ボランティア参加者数: 1,858人

○陸域部における取組み(令和2年度実績) 海岸漂着物問題の普及啓発イベントとして スポーツごみ拾いを開催

- ・16回実施、延べ779人参加



<スポーツごみ拾い>

11